

# コミュニティ・スクールだより

(令和2年度)  
第2号

発行/国府小学校学校運営協議会

朝夕ずいぶん過ごしやすくなってまいりましたが、台風やまだまだ安心できない新型コロナウイルスの影響で、お天気も心もすっきりしない日々が続いています。日常の学校生活が取り戻せない中で、毎日元気に勉強や運動会の練習にがんばっている子どもたちの姿は、頼もしくも感じます。運動会が秋晴れの最高のコンディションになることを祈らずにはられません。

第3回学校運営協議会が9月4日（金）に開催されましたので、内容等を報告いたします。

## ●校長先生のあいさつと子どもの様子



学校運営協議会の開催は、新型コロナウイルス感染防止のために中止している学校もあるが、本校では非常に重要な会議と認識しており、しっかりと感染防止対策をとって、今後も開催をしていきたい。

○子どもの様子 非日常の学校生活が続き、限界ぎりぎりのところで夏休みを迎えることができた。

○交通事故の報告 自転車と車の接触事故があった。近所の方のいち早い対応のおかげで、幸い大きなことにはならず一週間の入院で済んだが、子どもたちには、

ヘルメットの着用や交通ルールの徹底を行った。

○サルの群れの発生 危険な通学路では、地域の皆さんが車で先導していただき、地区委員の対応も迅速で子どもたちは安心して登校することができた。

このように、あらゆる場面で地域の皆さんにお世話になっている。本当に感謝している。

## ●感染症と熱中症の予防対策について

### 《登校時》

- ・距離を取る
- ・教室到着後、手洗いと手指の消毒
- ・検温カードの提出と確認
- ・熱中症対策として、帽子または傘の着用（マスクを外す）

### 《休み時間》

- ・換気・外遊びはマスクを外し距離を取る
- ・35度以上は外遊び中止

### 《掃除》

- ・トイレ、洗面所は手袋使用
- ・終了後の手洗いの徹底

### 《授業中》

- ・マスク使用
- ・作業や対面会話のときはフェイスシールド着用
- ・音楽 歌唱はフェイスシールド着用  
リコーダー、ハーモニカは指の動きのみ
- ・家庭科 ミシンや裁縫はフェイスシールド着用  
調理実習は実施を避け、動画視聴
- ・体育 マスクを外し、集合隊形は間隔を広く  
水分補給を定期的に行う
- ・エアコン、扇風機の使用
- ・35度以上は体育の中止



### 《給食時》

- ・手洗いの徹底
- ・当番と担任は、マスク、フェイスシールド、手袋着用
- ・配膳はセルフ方式
- ・前を向き、しゃべらずに食べる
- ・お変わり等の盛り付けは、担任

### 《放課後》

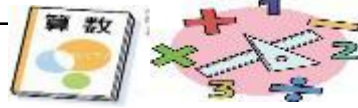
- ・職員による消毒（ドアノブ、階段手すり、蛇口、スイッチ等）

新型コロナウイルス感染者が確認された場合の対応 → 保健所・教育委員会の指示に従う  
→ 学校運営協議会委員長に報告

↓  
状況によって休校になる場合がある。

いじめ・差別・偏見など、人権侵害に及ぶことのないよう、子どもたちへの対応について事前指導に取り組んでいる。

## ●学習支援ボランティアについて



7月16日(木)にボランティア会議を開催し、算数支援の担当学年とクラスの決定、なかよし支援について協議しました。初めて全先生方にも参加いただき、自己紹介等を行って、2学期(8月25日)からのスタートに備えました。しかし、市内で感染が拡大したことから、10月からの実施と決定しました。今後の状況によっては再延期になる可能性もあります。

## ●運動会について

9月26日(土)2部形式(1部2・4・6年)(2部1・3・5年)で実施!!

開会式、閉会式は各教室で行い、種目はラジオ体操、短距離走、学年別団体競技「駐車場の入れ替え」「観覧スペース」「新型コロナウイルス対策」などの意見が出されました。地区内での大きな行事の中止が決定されている中での開催なので、特に観覧者同士の密をさけるための万全の対策の徹底を求めました。(観覧は保護者のみで、一般の方はご遠慮いただきます。)



## ●児童会役員との懇談について

例年、委員と児童が一緒になって、ワークショップ形式で一つのテーマについて話し合い、ともに考える時間をとっています。(今年は12月14日の予定)

「国府地区まちづくり協議会としても、子どもたちの生の声が聞ける大変貴重な機会であることから、できる限り実施したい。」との意見が出されました。今後、密にならない実施方法について検討を重ねていきます。

## ●教育支援課 杉谷先生のお話がありました

協働型のコミュニティ・スクールを目指して  
～学校・保護者・地域がそれぞれの責任と役割をもって～

新学習指導要領の「はじめに」のところに「社会に開かれた教育課程」という言葉が掲載された。これは、一言でいえば「コミュニティ・スクール」のこと。学校と保護者、そして地域が協働で「どんな子どもを育てていくのか」「どんな学校をつくっていくのか」を共に考え、知恵を出し合う学校づくりの仕組みが「コミュニティ・スクール」。

《それぞれの責任と役割》

- 学校 ⇒ 地域社会の中にある学校  
一人ひとりの教員は、勤務校の地域とつながっているか  
地域教材の発掘
- 保護者 ⇒ 一義的責任(家庭に責任があること)を自覚する
- 地域 ⇒ 地域の子どもは地域の宝  
地域の子どもを地域で育てる



学校運営協議会は、学校からの提案や報告・学校への要望等について、学校・保護者・地域の代表者が熟議を行う場です。「コミュニティ・スクールだより」は、地域コーディネーターが作成し会議の内容等を詳しくお知らせしています。「国府小だより」と併せてご覧いただければ、国府小学校の様子がよく分かります。ぜひご覧ください。

ご意見やご提案などなんでも結構です。気づいたことがあれば気軽にご連絡ください。

国府小学校 378-0538